

# 第 1 3 回 合併協議会 会議録

日 時 平成 1 6 年 1 2 月 1 6 日 ( 木 ) 午後 4 時 0 0 分 ~

場 所 日吉村住民センター 3 階ホール

広見町・日吉村合併協議会

## 第 1 3 回 広見町・日吉村合併協議会 会議録

1 招集日時	平成 1 6 年 1 2 月 1 6 日 ( 木 ) 午後 4 時 0 0 分												
2 招集場所	日吉村住民センター 3 階ホール												
3 協議会の 開閉時刻	開会時刻 午後 4 時 0 0 分 閉会時刻 午後 4 時 4 6 分												
4 出席委員の氏名	広 見 町	町 長	松 河	浦 野	甚 通	一 夫	日 吉 村	村 助	長 役	山 大	本 森	雅 時	之 政
		収入役	坂 松	本 本	末 八	功 重		議 議	員 員	山 山	崎 木	重 正	重 文
		議 員	松 二	田 宮	重 建	子 一		議 議	員 員	馬 渡	木 辺	正 文	雄 惠
		学 識	山 谷	下 口	一 隆	子 義		学 学	識 識	宮 宮	本 本	幸 芳	孝 春
		学 識	酒	井	哲	夫		学 学	識 識	入 入	田 田	伸 伸	介 介
		宇和島地方局長 丹生谷 光 嘉											
5 欠席委員の氏名	広見町 岩 本 益太郎 日吉村 芝 進												
6 職務のため出席 した者の氏名	日 吉 村 音 地 博 宇和島地方局 小 谷 龍 也												
7 出席した事務局 職員の職氏名	事務局長 高田 正博				班員 渡邊 妙子								
	次長 家森 康之				班員 鷺見 寿徳								
	総務班長 松本 幸男				班員 布 正幸								
	計画調整班長 宮本 茂幸												
8 広見町・日吉村合 併協議会規約第 1 1 条により出													

席を求めた者の 職氏名	
9 傍聴人の数	1人
10 協議事項	下記のとおり
11 その他	

### 第13回 広見町・日吉村合併協議会会議次第

日程第1 開 会

日程第2 会長あいさつ

日程第3 開議

日程第4 会議録署名委員の指名

日程第5 報告

(1) 報告第23号 広見町・日吉村合併協議会について

日程第6 閉会あいさつ

日程第7 閉 会

次長

失礼します。定刻になりましたので、ただいまから第13回会議を開催いたします。

開会に当たりまして、山本会長がごあいさつを申し上げます。

山本会長

皆さんこんにちは。第13回の広見町・日吉村合併協議会を開催させていただきましたところ、年末おしつまりまして何かとご多用の中を、地方局長さん、そして赤松県議さんの同席を頂きまして、開会できますことを大変有り難く、まず厚くお礼申し上げます。

光陰矢のごとしという諺を、最近特に実感しているところでございますけれども、振り返りますと、平成14年の6月でございました、任意協議会を立ち上げて、今日まで精力的に取り組んでいただきました。

ようやく明るいスタートができそうな気配でございまして、すべて手続が終わったわけでございますけれども、この2年半に渡ります間、献身的に積極的にご審議に参加を頂きまして、そして、慎重な審議の結果、本当に円満にと申しましょうか、両町村の合意がなされまして、大臣告示も受けますし、いよいよ1月1日を待つばかりとなっております。改めまして皆様方への今までのご厚意に心から感謝を申しあげたい訳であります。そして、事務局で努力いただきました、局長以下の職員の方にも、この席を借りまして厚く御礼を申しあげたいと思います。

こういう時に当りまして思い起こしますのに、年長ゆえに会長を仰せつかりましたけれども、やはり私の不手際、力不足をもちまして当初の計画が崩れまして、残念なことに1町1村の最小規模の合併になったわけではありますが。この点に関しましては、前にもお詫び申しあげておりますが、このときに当りまして、再度皆さん方にお詫びを申しあげたいわけであります。大変申し訳なく存じております。

さて、1月1日に向けまして、今両町村では全職員が、現在受け持っております仕事の整理、さらには、内示をいたしましたんで、新しくポジションが変わる職員もあるわけですが、それに向けて鋭意準備中とございまして、合併ゆえに行政サービスが低下するというふうなことは、これは許されないことでありまして、全力を挙げて住民の方々のご期待に沿うべく、万全を期する体制をとっておりますが、年明け、早ければ1月の末には新しい町長が誕生する予定でございます。それまでの間、不肖でございますけれども職務執行者という責を汚す訳でございますが、新町長が誕生しますれば、13000人の力を結集いたしまして、そして、新町長の下に、新町

の建設に向けて、お互いが努力しあうことを誓い合いたいというふうに考えておる訳であります。

当村最後の広報誌、さらには、新町の第1号の町広報誌の原稿を既に書いておりますけれども、その紙上におきましても、私の思いの一端を書かしていただいておりますが、小さくとも、住民の方々から、かなりの評価をいただけるような、そして、無理の無い、いわゆる流域で合併して良かったという結果を期待しているところでございます。どうぞ今後におきましても、変わらぬご支援を頂きますようお願いを申しあげるわけでございます。

今日は、たいした案件も用意をいたしておりますけれども、最後の協議会になろうと思っておりますが、どうかひとつ十二分に御意見を開陳して頂きまして、そして1月1日を迎えたいというふうに考えておる訳であります。重ねて今までに寄せていただきましたご厚意に、重ねて御礼を申しあげまして開会のごあいさつに代えます。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

家森次長

本日は岩本委員、芝両委員および高山県議が所用により欠席しておりますことをご報告申し上げます。では、会議規約に規定によりましてこれからの会議進行は山本会長をお願いをいたします。よろしくお願いいいたします。

山本会長

それでは会議に入ります前に、会議録の署名委員を選任させていただきたいと思っております。私の方で指名をさせていただきますのでお願い申し上げたいわけでありまして、広見町の松田八重子委員、それから日吉村の宮本幸孝委員をお願いしたいと存じます。よろしくお願いい申し上げます。

それではお手元でございますように、日程第5でございますが、報告第23号広見町・日吉村合併協議会について、本案を議題として事務局の説明を求めたいと思っております。

松本班長  
いて。

失礼をいたします。報告第23号広見町・日吉村合併協議会につ

広見町日吉村の合併協議会につきましては、平成16年1月に第1回の会議を開催いたしまして以来、本日の協議会まで13回を数えることになりました。その間、合併協議会規約に基づきます当協議会の担任する事務につきましては、すべて終了いたしまして、さらに総務大臣の告示等受けまして、平成17年1月1日で鬼北町の誕生を待つだけとなっておりますところであります。

つきましては、本日現在の合併協議会の決算見込の概要をご報告をさせていただいたと思います。お手元に配布をしておりますけれども、決算見込概要につきましては、歳入総額1,954万4,001円に対しまして、支出済み額が566万8,916円、さらに今後12月末までの支出予定額が818万円となっております。今後支出する予定のものといたしましては、電算化統合の業務委託料378万円、それから新町条例策定業務委託料120万円、その他コピー使用料・消耗品費・印刷製本費等で約300万円などであります。差引残額といたしましては、569万5,085円となる予定であります。合併までに監査委員の監査を受けまして、広見町・日吉村合併協議会の債権債務はすべて鬼北町へ引継ぐということにいたしております。以上、説明とさせていただきます。

山本会長

はい、説明が終わりました。ここでご意見ございましたら頂戴したいわけですが、どうぞよろしくお願いいたします。

ございませんか。無いようでございますが、報告のとおりまだ監査を受けておりませんので、仮決算の形でございますけれども、事務局の説明でご承認いただけましょくか？

ご異議ございませんか？

- 異議なし、の声 -

はい、ありがとうございます。それでは、ただいまの報告につきましては、事務局の説明どおり承認することに決定させていただきました。予定といたしましては28日に監査を受けるというふうに伺っておりますが、そういう運びにさせていただきたいと思っております。

それでは、極めて簡単な議事でございますけれども、折角の機会でございますので、用意した案件は終わったわけですが、ここで過去を振り返りましてご所見・ご感想あれば伺って会を閉じたいと思っておりますが、いかがでございますでしょうか？

坂本委員

会長

山本会長

はい、どうぞ。

坂本委員

本日議題になっておる、1月1日から今日までの1町1村の合併協議会の決算の見込は示されておりますが、14年の6月に発足した、きほく2町1村の合併協議会にかかる経費といひますか、これの決算の最終処分はどのような方法で決算をされるのかその考え方を、今日が最終になりますから、若干お尋ねします。詳細のこと

は必要ありません。今後の方針だけをお聞かせ願ったらと思います。

高田事務局長

私の方から説明を申し上げたいと思います。松野町を含めた平仮名のきほく合併協議会、このことにつきましては離脱された時に、一度金額、現金のみについての決算をあげております。それは報告を申しあげたとおりであります、その内容ご案内のとおりでありますけれども、経過一部触れさしていただきますと、合併に向けた協議中につきましては、後4項目を残すのみということでありまして、9割以上の確認をしたとこういう事で内容については理解しがたい物とこういうふうには言わざる終えない、というふうには受け止めているわけで、そして一方的に解散請求を受けたとこういう経緯の中で事務局といたしましては、これの精算についてどうするかという事について先進事例等を基に検討を重ねてまいりました。その中で、その当時はまだ松野町の助役、総務課長が幹事として残っておりました。その幹事の中でこの問題につきましても協議をしたわけでありまして、しかし、その時に全て精算をするというふうな状況下にはありませんでした。というのは、いわゆる精算をするということになりますと、いわゆる法の237条の1項による財産全てを精算しなければならない、しかし、その時点で残っておいた金額は、3町で200万前後だったと記憶しておりますけれども現金はそれだけではありますが、その他にいろんな経費を投入してまいりました。物品については車もありますが、いわゆるコンピュータに関する問題、それから事務室のLANいわゆる線を引くとか整備の経費いろんな物がございました。そういうふうな事の精算をいろいろ協議する中で、やはりこれは先進事例に倣うべきだろうし、もうひとつは法的なものも勉強してみる必要があるだろう、こういう事で丁度日吉の大森助役と山口県の周南市の方に参りました、そして周南市の事務局長秋坂という方です、現在はそこの収入役をやっておりますが、そこの下松市が離脱をしたその扱いを参考にさせて頂いたわけでありまして、そしてその例はいわゆるこのきほく合併協議会も休止扱いにしたわけでありまして、その市も休止扱いとする。そして、財産については精算しない精算しようにも監査委員、下松市から出ておいた監査委員が引いたと、だから監査請求する相手方もいないその行為は離脱した処による、こういうふうなお話もありました。これも全く松野町の離脱の後、監査委員が辞任をされたということと全く同じであります、そういうことで下松市の精算については一方ではいわゆる協議会をやってきたその経費たるものは、その市では1回に1700万円を要したと、だから住民から監査請求が

あったとすればそのことを放って置くわけにはいかないけれども、そのへんの処置が非常に難しいだから休止状態それと合わせてやはり精算ができない以上はその金額は新市に引き継ぐ、こういうふうな措置がベターではないか、こういうふうなことでその措置をしたこう聞いておる訳であります。そういうふうな事から我がきほく合併協議会も扱い方としてはその周南市と全く同じ歩みをしておる訳でありますから、やはり法的なこと等を勘案しながら参考にしてそのような措置をさせていただこうとこういうことにした訳であります。そういう事でございますから先ほど事務局から説明を申しあげました金額その中にはやはりその分が含まれていると、こういうふうなことであります。そのことも含めながら監査を頂いて新鬼北町に全て引継ぎをするとこういう考え方であります。

以上で説明を終わらせていただきます。

山本会長

他にございませんか。

特別内容でございますけれども、2年半を振り返ってこれは大変な歴史的な大転換に遭遇したわけでありましてお互いに、悲喜こもごもと申しましようかいろんな思いが去来すると思います。最後というわけではありませんけれども一応協議会としては、次は無いんではないかと思っております、終わりは次の始まりだということもございしますが、ここでご迷惑でございますが、マイクをまわしますのでひとつ簡単にご感想をお1人お1人述べていただければ大変ありがたいと思うわけでありまして、御協力お願いしたいと思います。一口づつお願いいたします。

大森時政

失礼します。合併協議会の委員も、あるいは幹事会の幹事も兼ねながらこの2年間余り協議をさせていただきました。特に幹事といたしましては、いろんな面で配慮が不十分な点もありまして、この合併協議会に出された議題についていろいろ混乱を招いたこともあったのではないかとこのように思っております。至らなかつたこと心からお詫びを申し上げます。それにいたしましても、広見町の委員さん方と本当にこの小さな村ではございましたが、対等に協議をさせていただきました。その思いやりに心から感謝を申し上げます。合併後も、どうかその思いやりでよろしく日吉村をお引き回しいただきますように、お願いを申し上げます。

本当にありがとうございました。

山本重夫

今、助役さんが言われて、全部言われたような形で私の言葉、な

いんですけれども、一言だけお礼を申し上げたいと思います。いろんな、松野の離脱の中でやっぱり住民の方々が本当に不安ばかりで、さて先々どうなるのかというような問題を抱えてきましたけれども、広見町さんのおかげで本当に温かく受け入れていただきまして、このような合併が出来ること本当にうれしく思いますし、住民の方も確かに安堵しているようなことで安心をされておりますので、またこれからも同じ鬼北町として一緒に手を取りながら進んで行きたいと思いますので、今まで以上に御指導御鞭撻を、またお願いしたいと思います。

本当に長い間ありがとうございました。お世話になりました。

山崎保

失礼をいたします。ちょうど各委員の皆さんと13回の協議会に出席をさせていただきました。本当に十分な話しもできませんでしたがけれども皆さんのお陰を持ちまして一緒に協議することができました。

どうも有難うございました。

馬木正雄

ちょっと長くなるかと思いますが、一言だけ申しあげたいと思います。実は私は以前から鬼北は一つという言葉が大変好きでございます。と言いますのは、もう30年近くなるとは思います、松野町を含めた3カ町村が鬼北農協を作ったときに、3カ町村で何かひとつ思い切った物を互いにしようじゃないかということで申しあった結果、夏秋きゅうりを始めた都合がございます。この件につきましては非常に評判もよく、大阪市場については鬼北という名前がついただけで中身を見ずに高値をよぶという風な気持ちの良い時期がございました。そこで私も本当にこれが鬼北がひとつだなというふうな感じを持ったものでございます。そこで、この合併は私も本当にうれしく思いますし、願わくば松野町が内部の調整ができて、どうかひとつ鬼北町に入れてほしいという要望があれば、ひとつ気持ち良く受入をしていただきたいというふうに思います。

本当に長い間有難うございました

渡辺文恵

失礼します。長い間皆さんにお世話になりました訳ですが、私たちのように素人が行政の細かいところにも関わるようなことを大分勉強させていただきまして、なかなか行政というのは難しいものだったんですが、小さい村でありますけれども昔と比べますと人口も3分の1になっておりまして、それこそ広見町と比べたら大変小さなおられるかもしれませんが、伝統ある日吉の村が消

える事の無いような、いつまでも長く続けて行くような町政といたしますかそういう村になって静かにというか、新しく立派にできました新町の計画案に基づいて暖かい町になるようなことを願っております。

どうも有難うございました。

宮本幸孝

ちょうど3年目といたしますが、こういったことで私書簡、事務局のほうから感想をという事でございましたのでちょっと書いたわけでございますけれども、それこそ行政関係いうものも大変この間にご苦労されとるということを勉強させていただきました。10年、何といたしますか、村長さん町長さん、そしてまた議員さん方のご苦労ということ、そしてまたいろんなことが勉強できたわけでございますが、ひとつ残念なかったことは1つ松野町の離脱の表明という内容において、いろんな批判を聞くときに、これは理由にならんようなもんじゃ、というような話しが日吉の住民にもいろいろあったと思いますし、松野町それから広見町にもあったと思います。非常に残念なと思います。先ほど馬木さんが申されましたが、鬼北の人情といたしますか、人は人がいいし、話がしよいというふうな感じをもって安心をしておりましたが、なかなかそうは行かん、人とは難しいもんじゃなと思いましたが、ように話し合えたら、また話しができるんじゃなかろうかというような考えもしたりしましたが、今回は広見町、大変人口の多いところから対等合併という事で日吉を入れてもろたというような感じを私も持っておりますけれども、私はこの地域で一番僻地にあります。北宇和郡の上の端で高知県境でございますが、ですがこの合併によって私は新しいものを見出したという感じで明るく感じておる訳でございます。よろしくまた今後ともお願いを申しあげましてあいさついたします。

有難うございました。

宮本芳春

失礼します。協議会で協議されたことは、その時はベターであったと私は思っておりますので、今後も合併して良かったなと思われるような、新しい町になることを願っております。

長い間どうも有り難うございました。

入田伸介

新しい町の将来を考えるこの会に、私どものような者同席さしていただきまして、この度のこの体験は私にとって非常な肥やしになるかと思っております。また今後ともよろしくお願いいたします。

どうも有難うございました。

酒井哲夫

ご承知のように、私は昭和25年から三島をはなれておりまして、平成8年の3月にこちらに帰ってまいりました。全く浦島太郎みたいな者でございましたが、この合併協議会の委員をお引き受けすることになりまして2年半大変ふるさとの事につきまして、改めて良い勉強をさして頂いたことを心からお礼申しあげたいと思います。帰りましてご承知のとおり広見川夢の会を作って頑張っておるところでございますが、新しい町の目標のひとつであります川はいきいき、そのために広見川を世界一美しくしようと思ってこれからも頑張りたいと思います。

本当に有難うございました。

谷口隆義

好むと好まざるとに関わらず、避けて通れないところの合併でございます。理想にはちょっと程遠い面もございましたが、同じ境遇の日吉と広見が合併できました、来年1月1日に鬼北町が誕生しますことを本当にうれしく思います。昔から小そうても針は飲めんと言います。1つ他の模範になるような鬼北町になりますことを祈念申しあげたいと思います。

有難うございました。

山下一子

失礼いたします。私にとりましては、この役は本当に重責でございました。力量不足のために十分なこともできませず、皆様方に申し訳なく思いますとともに残念に思っておるところでございます。ですが、私にとりましては先ほど渡辺さんもおっしゃいましたけれども、一般の住民でございますけれども行政の詳細に渡って知ることができ大変勉強になったと思っております。この協議会の委員が離れましても協議会の委員であったという事はずっと心に留めまして、もう歳もとっておりますので十分なことはできませんけれども活力ある町づくりに、お役に立って生きたいなとこのように思っております。それから、皆様方とこうしてお知り合いになれたことも大変に幸せだなと思っております。

本当にどうも有難うございました。失礼いたします。

二宮建一

失礼します。歴史ある日吉の武左衛門さんそして井谷先生、それから最近では奥島先生そういう先生方の立派な先生方の出ている村と合併できることが大変うれしく思っております。また我々はこれからあれになりますけど商工会の合併も日吉とやらんといけんのので、いろいろとご指導のほどよろしく願いたします。

松田八重子

失礼いたします。私も広見日吉の合併協議会に参加をさせていただきまして、本当に身に余る役だったと思っております。ほんとに有難うございました。お互いに違う文化、歴史がある。これまで続いております文化や歴史をこれからも鬼北町に1つでも多くつないでいって頂きたいと願っておるところでございます。そして新しい町きらりと光る町が誕生するわけなんですけれども、これは一人一人の努力とやはり責任があるのではないかと考えているので、皆さん方お互いに頑張っていかなければいけないと心に思っております。本当にこの場に出さして頂きましたことに関しまして、心から感謝を申しあげまして、本当に簡単ですがお礼の言葉といたします。有難うございました。

松本功

1回から今日に至るまで、私、微力ではありましたが自分なりに真剣に御審議をさせていただいたつもりでございます。幸いにすばらしい委員の皆様方のご理解とご協力のお陰で今日までスムーズに運び終了できましたことを嬉しく思っております。なお合わせて事務局サイドの方々に置かれましては、多大な御労苦であったかと敬意を表しますと同時に感謝を申しあげる次第でございます。今後ともよろしくお願いを申し上げます。

坂本末光

大変失礼ですが、自己の紹介をまずさせていただきたいと思えます。私はもうずっと若いときから、住民、すべての住民は平等と公平。すべての物事にすべての住民が責任を分かち合う。そして、すべての環境から平等に配分を受ける権利を持っているのが、すべての住民であるということが、私の基本理念ですから、14年6月に鬼北2町1村の合併協議会が立ち上がって以来、ただ平等と公平ということが非常に邪魔をしたのか、厳しい事を再三論じました。しかし今年の1月から1町1村の合併協議会になりまして、最初から私は、日吉と広見が合併するために協議を慎重にしないといけないというような考え方は持っていなかったのです。もう既に合併をしている一つの町の10年間の長期計画をお互いに煮詰め合おうという気持ちでございましたから、日吉には負けないとか広見には差しくられないとかということをして是非持たないで欲しいと、一つの町の将来を作るために公平の精神で、すべて平等な精神でこの長期構想を議論しましょうという事も建設計画小委員会の中にも申し上げました。そういった将来構想策定小委員会の委員長を仰せつかりました時から、すべてそういう精神でございました。願っておった

わけですが、この1町1村の合併協議は、私は全国の市町村の中にこれほど素晴らしい公平と円満な形で真剣に協議ができた合併の町村は、この鬼北町以外に私はないと、全国どこの地域のどこの町村にも勝る最終的結論を出せたなど、これは皆さんがひとつになって、とにかく、同じことを申し上げるようですが、差しくりあいをして、公平にやろうという精神がこういう結果を生み出したものだなどと感謝をしております。が、計画は立ちましたけれども、来年1月1日からの、やはり、1万3千の住民がどうなるのかなど不安は持たれておると思っています。1日も早く、すべての住民が「鬼北町は小さいけれども合併して良かったなあ」という町になることに最善の努力をお互いに尽くし合いたいと思います。

ありがとうございました。

河野通夫

失礼します。私は行政職員の一員としてこの委員に参画をしたわけですが、さまざまな情報不足あるいは時間的制約によりまして、なかなか思うように行かなかった分も沢山あるかと私は反省をしているところであります。特に先ほどもありましたように新町建設計画というのは、ただ文章化したんではどうにもならないんでありまして、いかに将来具現化をしていくか実効性を高めるかということが非常に大切であります。それは、すなわちやはり合併の基本である町の経営方針を計画的総合的にやっていくというのが基本中の基本であります。会社でも経営方針というのはありますけれども、町の、町はあんまり経営方針等言いませんが実際は経営方針です。将来、今からは、もう段々財政状況が悪くなりますから経営を度外した行政運営と言うのはなかなか困難になりつつあると思っております。ですから、これを立派につくりましたから今後新町において皆さん方の一丸となった協力によりまして、ぜひ実現をして頂きたいと思っております。以上です。

山本会長

松浦町長さんは、閉会のあいさつでまとめてご発言いただきますのでパスさせていただきます。それで、長らく御指導賜りました地方局長さんと、赤松県議さんにご所見を伺ってまいりたいと思いません。お願いいたします。

丹生谷光嘉

私は、昨年4月からこの合併協議会に参加させていただきました。途中で、当初に会長さんのほうからお話ありましたように松野町の離脱という、まあ予期せぬ事態が発生いたしました、今日の形になっておるわけですが、その時、私の力も至りませぬよう

いう結果になりましたことを私も悔やんでおりますし、皆様にもお詫びを申しあげたいと思います。ただその後、町長さん村長さんの素晴らしいリーダーシップ、それと両町議会の方々の協力、また協議会委員の皆様方の真剣な討議、審議によって順調に協議が進み、来年の1月新年とともに新しいスタートをきる、鬼北町が誕生するという事になりましたことを非常にうれしく思っております。これからは新年とともに輝かしいスタートを切る鬼北町、素晴らしく発展されますことを期待しておりますし、また我々県といたしましても鬼北町の建設、新しい町建設に可能な限りのお手伝いをさせていただきたいと思っております。

本当に皆さん御苦労様でございました。

赤松泰伸

たびたび欠席いたしまして申し訳ございません。昨日、中学高校時代の1つ後輩になるんですが、愛媛3区の小野代議士の書いている冊子を読んでおりましたその中に「偉大な仕事は夢に始まり、情熱で持続し、責任感で達成する」という言葉がありました。皆様方の情熱と責任感に心から敬意を表したいというふうに思います。ただ、私も農協合併の事務局をさしていただいておりますが、おそらく1月1日合併してしばらくの間、あまり合併して何が良かったのと言うような話しが出てこようかと思っております。今2004年の地方分権一括法、今改めてどういう内容か考えておりますけれども、自己責任と自立をあくまでも求めていく法律であろうかというふうに思います。ケネディーではありませんけれども新しい鬼北町、行政に求めるよりも自分たちが行政に、政治に参加し、どう新しい町づくりを一緒に進めていくかということが問われる時代になってきているというふうに思います。

本日お集まりの皆様、今後限りない情熱を持続していただきまして、新しい町づくりに邁進して頂きますように心からご祈念を申しあげまして、ごあいさつにします。

山本会長

誠に有難うございました。それぞれの思いを述べていただきまして、最後の合併協議会だよりも素晴らしいものになるかなと期待をいたしております。心からお礼申し上げます。私は開会のあいさつで申しあげておりますので、多くを申しあげませんが、常々申しあげるとは、大同小異という言葉がありますけれども、今回の我々広見町日吉村の合併にはこれがピタリ当るというふうに思っております。むしろ大を棄てて超大についたというふうな言い方もさせていただきます。そしてまた地域懇談会でいろいろな不満なり不

安の話が出ましたけれども、この大きな事業は、やり負けとかやり勝ったとかいうふうな議論は全くすべきじゃないと、これはあくまでも坂本議長言われましたけれども、公平公正の原則に立って誠意を込めて当るべしというふうに話しをさしていただきました。幸いに日吉村の場合には、大きな波風は立たずに今日を迎えました。大変喜んでおります。この場を借りまして厚く御礼を申しあげておきたいと思っております。 それでは、締めくくりに松浦町長さんのほうからお言葉を頂きたいと思っております。

松浦甚一

失礼をいたします。私も言葉はないんですけれども、本当に合併と言う大仕事を皆さんと共に真剣に検討協議を重ねて、その基本的な精神と言いますか、互助の精神、そして、お互い相手との信頼関係を大切にしながら、先ほど赤松先生もお話しございましたけれども、情熱と責任そういったものもしっかり持った中で、本当に良い協議を重ねそして良い結果が出たという事につきまして、合併協議会の委員さんをはじめといたしましてですね、日吉そしてまた広見の議会議員の皆さん方、それぞれの関係の皆さん方に心から感謝を申しあげたいというふうに思っております。

特に私としては、先ほど馬木委員さんもお話しございましたけれども鬼北という事にずいぶんこだわっておりまして、そのへんの自分の力不足というものも切実に感じておりますけれども、それはそれとして、現実お互いが信頼できる仲間同士で新しい町が誕生するという事にこの上ない喜びを皆さんと共に感じさしていただいております。先ほど来皆さんお話しがございましたように、この気持ちを大切にしながら、新生鬼北町が小さくとも住民の気持ちを十分代表した、将来やはり確かな夢の持てる町として育てるようにお互い頑張っていかななくてはならないではないかというふうな思いを深めております。

本当に有難うございました。心から感謝を申しあげます。

山本会長

それでは、以上を持ちまして、第13回広見町・日吉村の合併協議会を終了いたします。大変有難うございました。

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

広見町・日吉村合併協議会会長

会議録署名人

会議録署名人